

流域治水プロジェクト取組状況

令和4年 3月7日

国土交通省 中部地方整備局

豊橋河川事務所

豊川水系流域治水プロジェクト【位置図】

R3.3時点
【公表版】

～日本の東西をつなぐ「交通の要衝」を水害から守る流域治水対策～

- 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、豊川水系においても、事前防災対策を進める必要がある。
- 豊川流域は産業経済の根幹をなす交通の要衝であり、無堤区間のある霞堤地区を有するなど水害リスクが高い流域であることから、霞堤対策や浸水リスクが高い地域の「安全なまちづくり」に向けた立地適正化計画の推進、霞堤地区浸水被害軽減対策計画等のソフト対策の整備を実施する。
- これらの取組により、国管理区間においては、戦後最大の昭和44年8月洪水と同規模の洪水に対し、破堤等による甚大な被害を防止するとともに流域における浸水被害の軽減を図る。



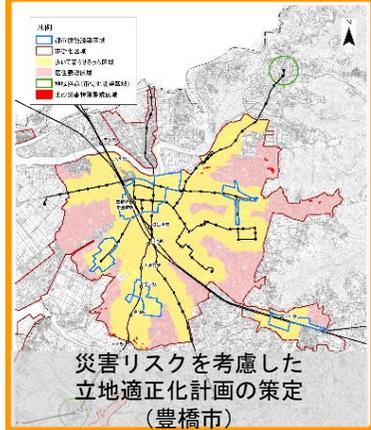
● 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河道掘削、樹木伐採、緊急浚渫推進事業
- ・霞堤対策(小堤、支川背水対策)4箇所
- ・設楽ダム建設
- ・放水路の機能保全・最大活用検討
- ・流出抑制対策
(利水ダム等3ダムにおける事前放流等の実施、体制構築、下水道(雨水)整備、砂防関係施設整備、流域貯留池事業、治山施設の整備、森林の間伐、森林整備・保全等)



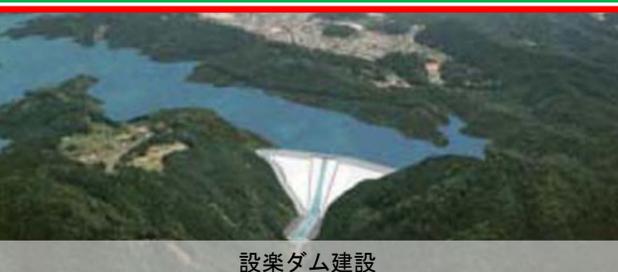
● 被害対象を減少させるための対策

- ・頻発・激化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」にむけた取組
(立地適正化計画、土地利用規制・誘導(災害危険区域等))



● 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・被害軽減対策
(排水作業準備計画の検証、要配慮者利用施設の避難確保計画の作成促進、避難場所や経路に関する情報周知、土砂災害警戒区域等の指定・周知)
- ・住民の主体的な避難行動を促す取り組み
(「みずから守るプログラム」の普及促進、防災講座・防災訓練、ハザードマップの作成・周知、住民の水害リスクに対する理解促進の取組、洪水プッシュ型情報配信、水害リスクライン配信、土砂災害リスク情報の現地表示、浸水予想図作成等)
- ・ソフト対策のための整備
(霞堤地区浸水被害軽減対策計画、水害リスクの高い区間の監視体制の整備、水害リスク空白域の解消等)



※大臣管理区間以外は、県・市管理河川の代表的な箇所(河川)を示したものである。
※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

凡例

- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- 被害対象を減少させるための対策
- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
- 実績浸水範囲 (戦後最大の昭和44年8月洪水)
- 大臣管理区間

豊川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～日本の東西をつなぐ「交通の要衝」を水害から守る流域治水対策～

R3.3時点
【公表版】

● 豊川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】

- ・氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策として、設楽ダム建設や霞堤対策(小堤、支川背水対策)、緊急浚渫推進事業等により、豊川下流域の浸水深・浸水面積の減少を図る。
- ・被害対象を減少させるための対策として、災害リスクの高い地域を抽出・分析し、立地適正化計画に基づいた防災指針を策定する。
- ・被害の軽減、早期復旧・復興のための対策として、要配慮者施設避難確保計画の作成促進、「みずから守るプログラム」の普及促進等のソフト対策を推進する。
- ・霞堤地区浸水被害軽減対策協議会と協同し、水害リスクの高い区間の監視体制の整備等を実施する。霞堤地区の浸水被害軽減を図る。

【中長期】

- ・短期に引き続き、直轄管理区間・指定管理区間において河道掘削・樹木伐採等を実施し、中下流域の浸水被害解消を図る。
- ・防災指針等を踏まえ、構成員が一体となり災害リスクの低い地域への居住誘導を推進する。
- ・さらに、被害の軽減、早期復旧・復興のための対策についても引き続き実施し、流域全体の安全度向上を図る。

【ロードマップ】 ※スケジュールは、今後の事業進捗によって変更となる場合があります。 ※各対策による実施主体は、代表的な市町名を記載しています。

区分	対策内容	実施主体	工程	
			短期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削	豊橋河川事務所	■ 霞堤対策(小堤、支川背水対策)	■
	霞堤対策(小堤、支川背水対策)	豊橋河川事務所・愛知県 豊橋市・豊川市 等	■	■ 設楽ダム完成
	設楽ダム建設	設楽ダム工事事務所	■	■
	放水路の機能保全・最大活用検討	豊橋河川事務所	■	■
	河道掘削、樹木伐採	愛知県	■	■
	緊急浚渫推進事業(朝倉川・白鳥川・宝川・沖野川 等)	豊橋市・豊川市・新城市 等	■	■
	下水道(雨水)整備	豊橋市・豊川市 等	■	■
	利水ダム等3ダムにおける事前放流等の実施、体制構築	水資源機構 等	■	■
	砂防関係施設整備	愛知県	■	■
	治山施設の整備、森林保全	愛知県、中部森林管理局、 森林整備センター 等	■	■
被害対象を減少させるための対策	防災・減災のための住まい方や土地利用:立地適正化計画	豊橋市・豊川市 等	■	■
	土地利用規制・誘導(災害危険区域等)	豊橋市・豊川市 等	■	■
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	洪水プッシュ型情報配信、水害リスクライン配信	豊橋河川事務所	■	■
	浸水予想図作成	豊橋河川事務所	■	■
	「みずから守るプログラム」の普及促進	愛知県	■	■
	要配慮者利用施設の避難確保計画の作成促進、避難場所や経路に関する情報周知、土砂災害リスク情報の現地表示	愛知県・豊橋市・豊川市 等	■	■
	ハザードマップの作成・啓発	豊橋市・豊川市・新城市 等	■	■
	霞堤地区浸水被害軽減対策計画、水害リスクの高い区間の監視体制の整備	愛知県・豊橋市・豊川市 等	■	■
				■

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

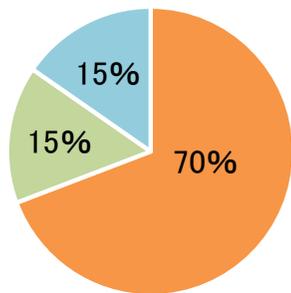
【事業費 (R2年度以降の残事業費)】

- 河川対策
全体事業費 約1,705億円 ※1
対策内容 河道掘削 設楽ダム建設 小堤整備 等
 - 下水道対策
全体事業費 約14億円 ※2
対策内容 下水道等の排水施設整備
- ※1: 直轄及び各圏域の河川整備計画の残事業費を記載
※2: 各市町における下水道事業計画の残事業費を記載

豊川水系流域治水プロジェクト取組状況

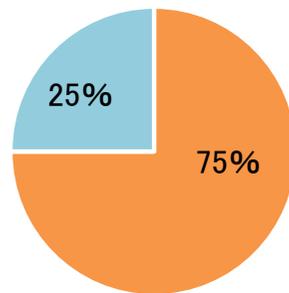
流域治水対策の取組状況アンケート結果

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策



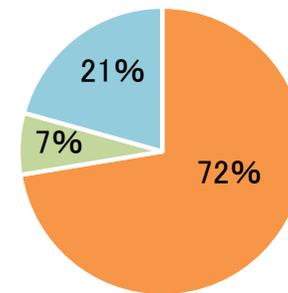
■ 1.着手済み ■ 2.検討中 ■ 3.未着手

被害対象を減少させるための対策



■ 1.着手済み ■ 2.検討中 ■ 3.未着手

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策



■ 1.着手済み ■ 2.検討中 ■ 3.未着手

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 各機関の取組対象プロジェクトについて、70%が着手済み(26件中18件)、15%が検討中(26件中4件)。
- 豊橋市・豊川市では下水道雨水整備を順次実施中。
- 豊橋市・豊川市・新城市では河道の浚渫事業を実施、設楽町ではR5年度以降に豊川流域で浚渫事業を実施予定。

被害対象を減少させるための対策

- 各機関の取組対象プロジェクトについて、75%が着手済み(4件中3件)。
- 豊橋市・新城市では立地適正化計画における防災指針の策定にむけた作業に着手。

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- 各機関の取組対象プロジェクトについて、72%が着手済み(29件中21件)、7%が検討中(29件中2件)。
- 関係各機関が共同で「霞堤地区浸水被害軽減対策計画」に基づいた、ソフト・ハード対策を実施中。
- 新城市ではR3年完成の度県管理河川浸水予想図(愛知県)を用いて、R5年度に洪水ハザードマップを作成予定。

【豊川市】流域治水対策の取組事例～下水道雨水整備あそだ(麻生田調整池の新造)～

- 市としては、『安全・安心で「暮らしやすさ第一豊川市」を水害から守る流域治水対策』として、国、県、市が一体となって、“流域治水”を推進したいと考えています。
- その対策メニューのひとつが“雨水貯留施設の推進”です。貯留施設を用いて、流出抑制することで、洪水被害を軽減させることができます。
- この事業は、社会資本総合交付金を活用して、令和3年度～4年度において、豊川流域関連豊川市公共下水道事業計画に基づき、麻生田調整池の築造工事を行っています。

◆取組内容

麻生田調整池の築造工事を実施

調整池名称	降雨	調整池容量 (m ³)	調整池カット量 (m ³ /s)	敷地面積 (m ²)
麻生田調整池	5年確率 (50mm/時)	2,800	2.11	4,300

◆取組効果

進捗状況は、下記の通りです。

堤体造成工	2,100m ³
布製型枠工	1,399m ²
舗装工	2,161m ²
流入ゲート工	1箇所
電気設備工	1式



【豊川市】流域治水対策の取組事例～霞堤地区浸水被害軽減対策計画（農機具退避所の設置）～

- 市としては、『安全・安心で「暮らしやすさ第一豊川市」を水害から守る流域治水対策』として、国、県、市が一体となって、“流域治水”を推進したいと考えています。
- その対策メニューのひとつが“農機具退避所の設置”です。豊川の洪水時に、金沢霞堤地区の浸水被害から農機具を一時的に避難させる場所として確保しました。
- この事業は、豊川霞堤地区浸水被害軽減対策計画のソフト対策として、令和2年度～令和3年度において、農機具退避所の設置工事を行っております。

◆取組箇所



着手前



整備状況 令和3年10月



◆取組内容及び効果

農機具退避所の設置工事は、浸水時において高台の位置へ避難場所を確保し、約500㎡の場内舗装を行い、入り口幅4m、盗難防止用フェンスを外周に設置します。

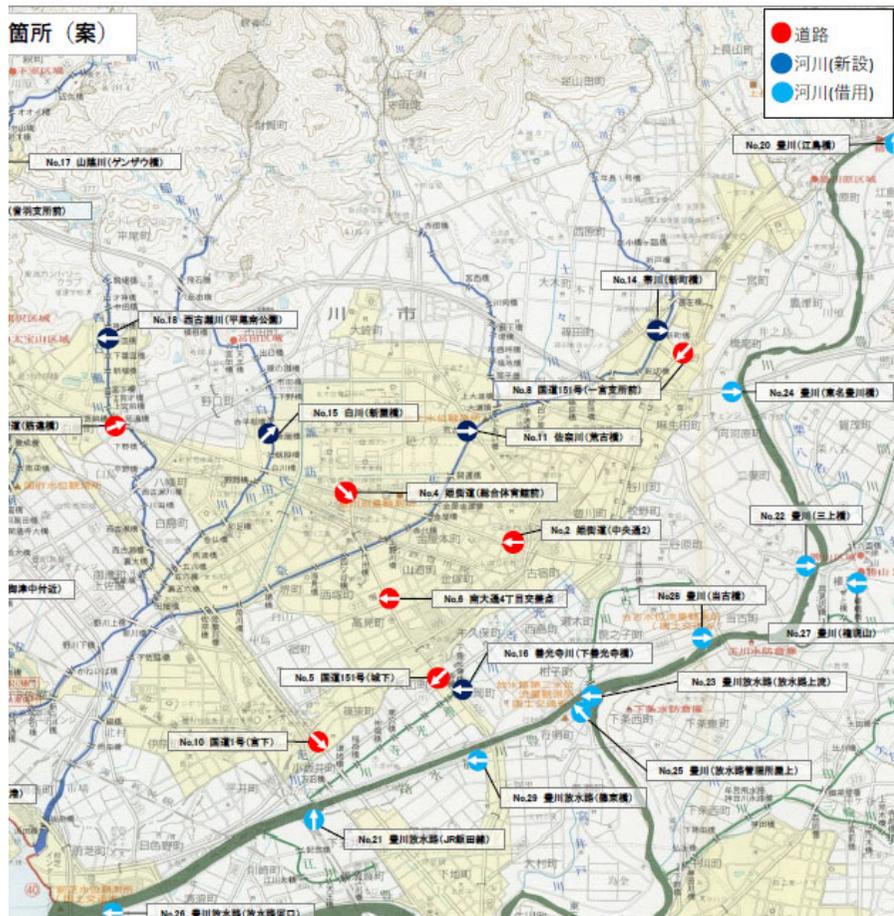
- 農機具退避所は、金沢地区の昭和44年の洪水規模（破堤なし）の浸水想定範囲より外れた位置に設置します。

【豊川市】流域治水対策の取組事例～監視体制の整備(監視カメラの設置及び映像の拡充)～

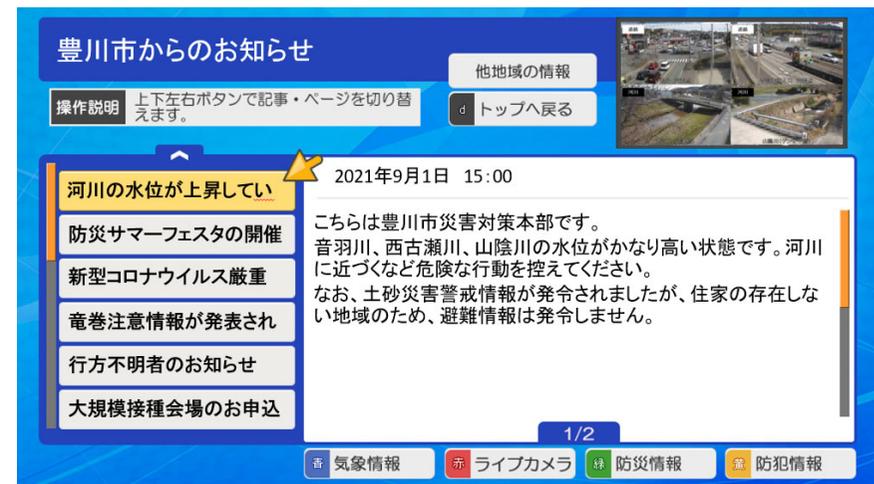
- 市としては、『安全・安心で「暮らしやすさ第一豊川市」を水害から守る流域治水対策』として、国、県、市が一体となって、“流域治水”を推進したいと考えています。
- その対策メニューのひとつが“監視カメラの設置及び映像の拡充”です。令和3年7月にケーブルTVと豊川市で、市民の安全・安心な暮らしの実現と市民生活の利便性の向上等を推進するため、“行政情報・地域情報等の発信に関する連携協定”を締結しました。
- 協定の締結後、市内に設置されたカメラにより、ケーブルTVやアプリから、河川の水位情報等のライブ映像を確認できるようになりました。

◆取組内容

豊川水系 河川カメラ設置1箇所(善光寺川)
国河川配信映像10箇所(豊川)



ケーブルTVの配信状況



【豊橋市】流域治水対策の取組事例 ～立地適正化計画における「防災指針」の策定～

- ・ 住民の命と暮らしを守る、安全・安心を兼ね備えたまちを目指し、立地適正化計画において防災指針を策定しています。
- ・ 防災指針では、災害ハザード情報と都市の情報を重ね合わせることで、都市の防災上の課題を抽出することができます。
- ・ そうした課題を踏まえ、土地利用をはじめハードやソフト対策を組み合わせることで、都市の安全性を高めていきます。
- ・ 令和3年度は災害リスク分析による課題の抽出を中心に行っており、今後具体的な取り組みをとりまとめ令和4年度末に公表します。

◆取組内容

防災指針は、利便性の高いエリアに居住や都市機能の誘導を図るにあたって、災害リスクに対しどのような安全を確保するかということを示す指針となります。

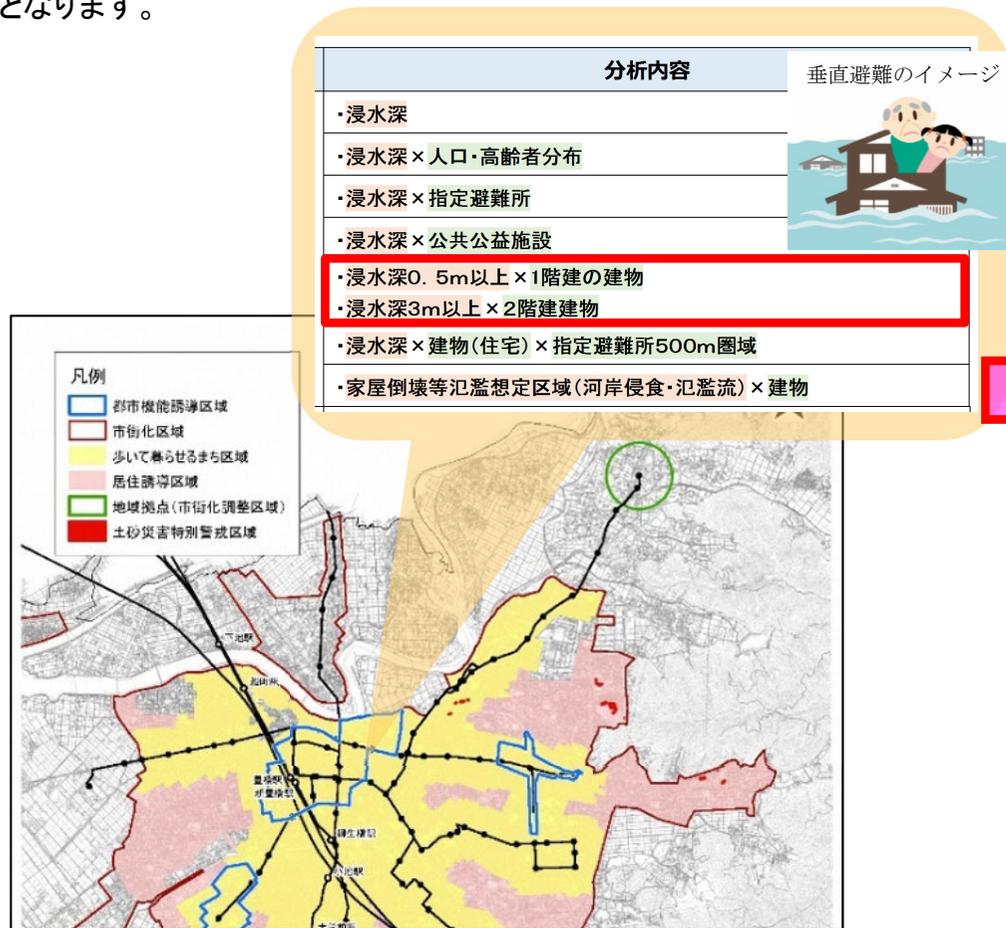


図 居住誘導区域及び歩いて暮らせるまち区域 (一部抜粋)

◆取組効果(あるいは進捗状況など)

令和3年度現在の進捗状況(分析結果の一例)



図 垂直避難が困難な建物の分布(洪水)

- ・ 公表は令和4年度末を予定しています。今年度の分析結果を踏まえ、「回避」と「低減」を基本に来年度具体的な取り組み内容のとりまとめを行っていきます。
- ・ 防災部局や建設部局などの庁内をはじめ、国や県、企業や地元などあらゆる関係者と協働し、よりよい計画を策定していきます。

【豊橋河川事務所】流域治水対策の取組事例 ～霞堤地区浸水被害軽減対策計画～

- ・ 豊川霞堤地区における浸水被害軽減を図るため、令和4年1月21日に「第7回豊川霞堤地区浸水被害軽減対策協議会」を開催しました。
- ・ 協議会では、豊川霞堤地区被害軽減対策計画フォローアップとして、計画の進捗状況を構成員と共有しました。
- ・ また、協議会の下部組織である作業部会や地元説明会で行われた意見について説明しました

◆開催概要

【開催概要】

日時：令和4年1月21日（金） 10:00～11:00

会場：WEB開催 ※新型コロナウイルス感染症対策のため

出席者：愛知県東三河建設事務所長

豊橋市役所建設部長、豊川市役所建設部長、
豊川改修期成同盟会会長、豊川改修促進期成同盟会会長、
豊橋河川事務所長

【主な議事】

- ・ 豊川霞堤地区被害軽減対策計画フォローアップについて
- ・ 作業部会及び地元説明会の報告について
- ・ 令和3年8月出水時対応について



豊川霞堤地区浸水被害軽減対策計画の対策メニュー概要

- ・ 「豊川霞堤地区浸水被害軽減対策計画」に位置付けられたソフト対策は情報提供（雨天時、平常時）、自助・共助・公助による防災対策、他の事業主体との連携のカテゴリーで全11項目、ハード対策は小堤及び関連施設整備です。
- ・ これらのメニューを平成28年度から10か年をかけて、3期に分けて整備していく計画となっています。
- ・ 令和3年度は取組開始から6年目になります。

区分	カテゴリ	No.	内 容	事業主体	実施する目標期間			進捗状況
					第1期 (令和3年度内 [R3～R5])	第2期 (令和4年度内 [R6～R7])	第3期 (令和5年度内 [R8～R10])	
ソフト対策	I 情報提供 (雨天時)	1	浸水開始水位等の設定	国土交通省	(観 測)	(設定)	(必要に応じて実施等)	実施済
		2	CCTVカメラ・降雨水位計等の設置	国土交通省	(設 置)			実施済
		3	メールの配信やアプリによる情報提供	国土交通省・豊橋市・豊川市	(開発・試験運用)	(運 用)	(必要に応じて実施等)	実施済
		4	市HPへ霞堤地区の浸水状況を掲載	豊橋市・豊川市	(試験運用)	(設 置)	(必要に応じて実施等)	実施済
	II 情報提供 (平常時)	5	浸水案内看板等の設置	愛知県・豊橋市・豊川市	(調 査)	(設 置)		実施済
		6	時系列の浸水想定区域図の作成と提供	国土交通省	(作 成・提供)			実施済
		7	ハザードマップの作成・公開	豊橋市・豊川市	(作 成・公開)			実施済
	III 自助・共助・公助対策	8	防災情報の周知(出前講座の実施)	国土交通省・豊橋市・豊川市			(必要に応じて出前講座を実施)	実施済
		9	情報伝達訓練の実施	国土交通省・豊橋市・豊川市			(必要に応じてタイムラインの策定)	実施済
	IV 他の事業主体との連携	10	農機具の待避場や住民の一時避難場所の候補地及び避難ルート等	国土交通省・豊橋市・豊川市		(ハザードマップへの反映)		運用中
		11	建築確認申請時の指導	豊橋市・豊川市			(必要に応じて指導内容の見直し)	実施済
V 小 堤		12	小堤及び関連施設の設置(排水樋門等を含む)	国土交通省	(用地・設計)	(小堤及び関連施設の設置)	実施中	

前回協議会以降の主な取り組みの進捗

ハード対策Ⅴ-12 (小堤及び関連施設の設置 (排水樋門等を含む))

- ・ 各霞堤地区において用地取得を進めています。
- ・ また、小堤及び関連施設整備を推進しており、小堤・排水樋門の詳細設計を行っています。



小堤及び関連施設整備イメージ図